



DAIHATSU



2017年5月22日

(1/2)

シルク・ドゥ・ソレイユ 次回作品  
「KURIOS（キュリオス）」への特別協賛（7作品連続）を発表



シルク・ドゥ・ソレイユ 次回作品「キュリオス」ロゴ

ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）は、2018年2月に日本に上陸するシルク・ドゥ・ソレイユ作品「KURIOS（以下キュリオス）」に特別協賛する。

ダイハツは、世代、国境を越えて人々を魅了するその高い創造力と芸術性に共感し、2007年の「ドラリオン」以降、シルク・ドゥ・ソレイユ日本公演を応援してきた。今回の「キュリオス」で7作品連続の特別協賛となる。

\*過去の協賛作品は以下の通り。

「ドラリオン」（2007年2月～2008年6月）

「コルテオ」（2009年2月～2010年6月）

「クーザ」（2011年2月～2012年4月）

「マイケル・ジャクソン ザ・イモータル ワールドツアー」（2013年5月～6月）

「オーヴォ」（2014年2月～2015年6月）

「トーテム」（2016年2月～2017年5月）

開催期間中、会場内エントランスでは、公演作品の世界観を反映させた車両展示を行っており、「トーテム」では、軽乗用車「キャスト スポーツ」、小型乗用車「ブーン シルク」を展示。来場者にお楽しみ頂いた。

本作品でも趣向を凝らした車両展示を実施予定。



「トーテム」での車両展示の様子（左：「ブーン シルク」、右：「キャスト スポーツ」）

<シルク・ドゥ・ソレイユとは>

シルク・ドゥ・ソレイユは、1984年のカナダ・ケベックでの設立以来、世界6大陸400都市を巡り、全世界で1億6千万人以上もの人々を魅了してきたエンターテインメント集団。人間の持つ能力の限界まで追求したパフォーマンスと、生演奏、照明、舞台美術、衣装、振付に至る全てにこだわり、それらを融合させた芸術性の高さから、世代、国境を越え愛され続けている。

<キュリオスとは>

「キュリオス」は、1984年のシルク・ドゥ・ソレイユ創設以来35作品目で、シルク・ドゥ・ソレイユ創設30周年を記念して制作された特別な作品。タイトルの「KURIOS（キュリオス）」は「Curiosity（キュリオシティー）」が語源で、「好奇心」という意味と「骨董品」という意味を持つ「CURIOS」の頭文字を「K」にもじったシルク・ドゥ・ソレイユ独自の造語。「キュリオス」は2014年の開幕以来、2017年5月のヒューストン公演までに230万人を動員している。日本では、2018年2月の東京公演を皮切りに、大阪、名古屋、福岡、仙台を巡演予定。

※詳細は、「ダイハツ キュリオス」オフィシャルサイト [www.kurios.jp](http://www.kurios.jp) まで。

以 上